

# 【誰でも描けるパステル画】

## 初めてのパステル画用ツール

パステルを粉にし、指につけて描くことで、初めての人でも簡単に素敵なパステル画が描けます。体験者は「指で直接画用紙表面を撫でるのは、心地よく癒される」と云い、初めての作品の出来栄えにビックリします。そして、その手軽さから市民講座や親子教室、高齢者向け介護予防教室等で急速に広がりつつあります。それにともなって、パステル画を誰でも簡単に描くための必須ツールであるステンシルや画用紙を固定・マスクングするツール等が求められています。そうした要望に応え、「初めてのパステル画用ツール」を上市しました。作品を作りながら楽しく配色演習ができるツールとして色彩講師からも注目されています。

### ■ 製品構成

はじめてのパステル画用ステンシル 3種類 1組 @1,200円  
マスクング台（外寸180×180mm、開口部120×120mm） @600円  
持ち帰り用簡易額 @650円（単品販売はしていません）  
専用画用紙（150×150mm） 100枚単位 @700円  
初めてのパステル画用ツールお試しセット @2,160円



マスクング台とステンシル



持ち帰り用簡易額（絵はイメージ）

ステンシル3種類1組、マスクング台1、  
持ち帰り用簡易額1、専用画用紙10枚

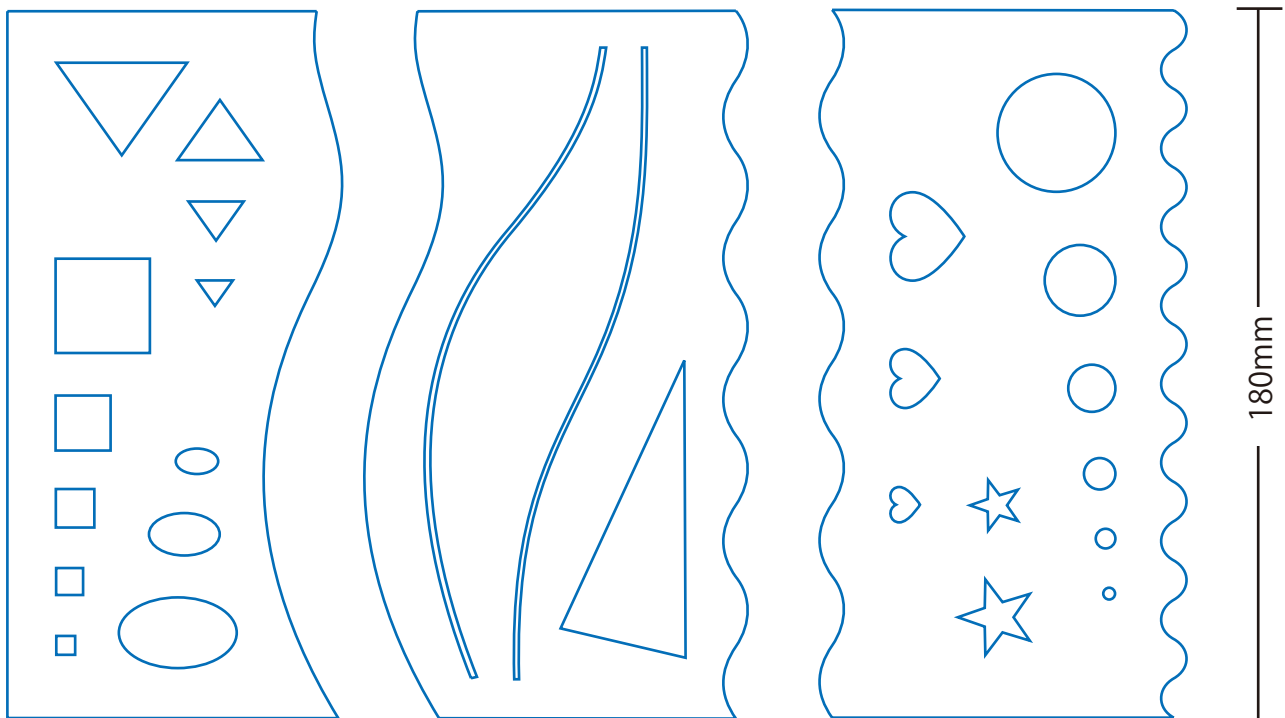
※ 価格は税込み、別途送料実費（合計金額1万円以上は無料）を頂きます。

その他パステル画に必要なもの（販売はしていません）

- ・パステル（18色～） ダイソー、東急ハンズ、画材店、文具店
- ・練り消しゴム 東急ハンズ、画材店、文具店
- ・フィキサスプレー 東急ハンズ、画材店
- ・紙皿、綿棒、ウェットティッシュ、竹ベラ 100円SHOP等

### ■ ステンシル図面

0.2mm厚の透明塩ビシートを使用しており、下の絵を見ながら描画が可能。



# 【誰でも描けるパステル画】

## ■ 描画方法

### <共通>

最初にパステル、練り消しゴム、フィキサスプレー、画用紙、マスキング台、綿棒を用意します。

パステル画用マスキング台の台から枠を外します。枠を裏返しにし、専用画用紙を表（ざらついた方）を裏にしておきます。三角の凹と凸を合わせて台をはめます。裏返せば、用紙の準備は完了です。

使用したい色のパステルを竹ペラ等で削って紙皿にパステル粉を用意します。

指にパステル粉をつけて画用紙に好きなように描きましょう。

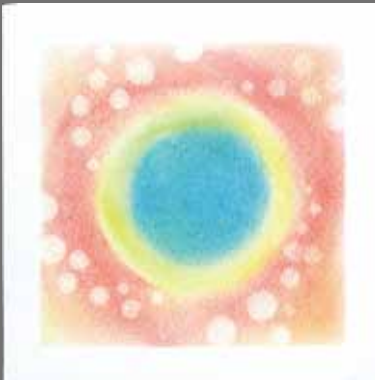
型抜きや型に沿った色付けをする場合は専用ステンシルを乗せて練り消しゴムで型に沿って消したり、色をつけたりします。

描き終わったら、一旦マスキング台から外し、フィキサスプレーでパステルを固定します。

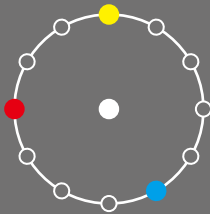
作品は簡易額に入れて持ち帰りましょう。簡易額は厚紙製ですから湿気や乾燥によりそってくる場合があります。長期間楽しむためには専門の額にお入れください。

マスキング台、ステンシルの汚れはウエットティッシュで拭きとります。マスキング台は表面以外は厚紙ですから表面以外には水分をつけないようにしましょう。

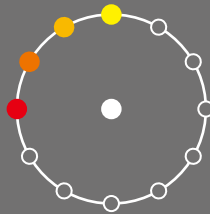
## ■ 作品例と描画方法



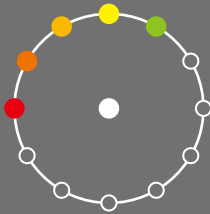
初めての丸①



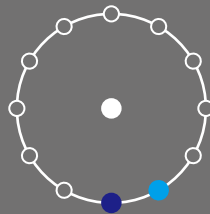
初めての丸②



陽気な丸



波とあぶく



### 「初めての丸①」

①パステルを3色ほど選び削った粉を指につけ自由に丸を描く。(大きく描きすぎたら練り消しゴムを使って消すことで大きさの調整もできます。またやり直すこともできます。画用紙の中央から、あるいは隅からと自由に描いてみましょう。)

②丸く白く抜く…ステンシル型の丸を画用紙の好きなところに置き練り消しゴムを使って消す。(ステンシル型が透明なので置きたいところに置けます。)

### 「初めての丸②」

①パステルを3色ほど選び削った粉を指につけ自由に丸を描くのは「初めての丸①」と同様だが、丸を描く前にどれか1色で全体に薄く色を塗っておく。

②丸く白く抜く…ステンシル型の丸を画用紙の好きなところに置き練り消しゴムを使って消す。

③筋を入れる…ステンシル型の直線の部分を画用紙においてエッジに沿って練り消しゴムで消す。練り消しゴムの先を細くするほど細い筋が引ける。

### 「陽気な丸」

①画用紙全体にクリーム色を塗る。

②ステンシル型の丸を使い練り消しゴムで白く抜いては色を入れていく。これを繰り返しながら、丸を次々に重ねていく。(練り消しゴムを使えばやり直しができるので思い切って描いていきましょう。)

③白くハート型に抜く…ステンシル型のハートを好きなところに置き、練り消しゴムで消すと白く抜ける。(ハートに色をつけたい場合は、抜いた後に色を入れる。)

### 「波とあぶく」

①画用紙全体に白を塗る。

②上2cmを青く塗る。ステンシル型の波型を下に向けて使い、練り消しゴムで白く抜いた後ニュアンスの違う青を入れる。ポイントは、波の山の部分に強めに入れたら下に向かってぼかすこと。

③これを3回繰り返す。(この時、波型を約1cm下にずらす。)

④あぶくを作る…ステンシル型の丸を好きなところに置き練り消しゴムで白く抜く。抜いた後に綿棒で部分的に色を入れる。

# 【乾 宏子作品集】



憂鬱な四角



穏やかな楕円



したたかな三角



絹の舞



シャボン玉



錦色の稜線



雨の蓮池



コンポジション



奏でる森



宙 (そら)



水風船



遠く空へ